

2022MFJ 全日本スーパーモト選手権最終戦 スポーツランド SUGO 参戦レポート

MFJ 全日本スーパーモト S1Open クラス

MERCURYPRODUCTS & Husqvarna 東名横浜 #10 薄井保彦

10 月 16 日宮城県スポーツランド SUGO で開催された MFJ 全日本スーパーモト選手権最終戦に参戦しました。

今回は SUGO のコースでは最長のダートセクションが新設されて難易度が上がっています。

ダートのレイアウトは通常の 4 コーナーを立ち上がりそこからイン側に逸れダートコースへ。5 コーナー沿いにバンク、小さなジャンプを超えて 6 コーナー沿いにバンク、立ち上がってからテーブルトップジャンプそこから普段のエスケープゾーンのアスファルト上に設置されたシケインを超えてから土質が粘土質に変わる第 2 ダート。大きな轍で今回苦戦したストレート、外側バンクか内側ポコジャンで右ターン、そこからターマックに戻り 8 コーナーへととなります。

そして粘土質の第 2 ダートの土を引っぱる形でターマック路面も全体的にスリッピーな状態になってしまっています。

前日練習では特に攻め込んでいない状況にもかかわらずスリッピーな路面でフロントブレーキを掛けた途端に転倒してしまいターマックでのグリップ感が掴めなくなっていました。

レース当日天気は晴れで雨の心配もなく気持ちよいレースが出来そうな天候です。普段の SUGO 戦は 8 月開催で 10 月に全日本戦開催は初となりましたが、陽が出ているので走るには丁度いい気温です。ダートでタイヤは冷えるのでコンパウンドはソフトを選択。

まず公式練習はダートのライン取りを数パターンチェックとターマックのグリップ感を確認します。

予選タイムアタック。

他選手と絡まない様に遅めにコースイン。しかし、狭い SUGO のコースではすぐに前が詰まってしまいます。

間合いを取りながら 1 周タイムアタック、1 周捨てラップと繰り返し 3 ラップなんとかタイムアタックが出来ました。順位は 11 位。通過するだけでも難しい第 2 ダートの轍に苦戦した中ではターマックが少し速かったお陰で何とか真ん中あたりの順位に付けました。

ヒート 1

4 列目真ん中からスタート。



スタートから 4 コーナーまで左コーナーが続く SUGO ではイン側が有利と判断しなんとかねじ込みますが順位は変わらず。途中で 13 番手まで順位を落とすもののダートでの転倒者も多く、転倒だけはしない様に走り切り転倒から追いつきの千葉選手をなんとか抑え 9 位フィニッシュ。



ヒート 2

スターティンググリッドは良くなったものの、まずスタートでフロントを上げてしまい失敗。さらにダートで数台に抜かれて大きくポジションダウン。



それでも何とか大きめの先頭集団に食らいついていましたが徐々に差が広がり前との差が 1 秒程。



後ろの藤田選手はターマックで引き離すもののダートではビタビタに突かれます。



第 2 ダート轍ストレート後の右コーナーで自分は外側バンクを、藤田選手は内側の小さいジャンプが設置されたコースを通りそこで毎回並べられますが、バンクを使った方が加速が良いのでターマックまでには前に出られます。それを毎周繰り返しの状況。フェイントでこちらも内側ラインを通りたいところですがそれには違う轍を通らなくてはならず、転倒のリスクがある為急にラインを変える事が出来ません。

なんとか持ちこたえての最終ラップ。周回遅れの選手が第 2 ダート上に。抜くには遠くちょうど後ろについてしまいます。前の選手はバンク側を選択自分も後を追う状況に。ここでイン側から藤田選手にやられると思いましたがなんとか抜かれずにターマックへ。ただ、ターマックもパッシングし難いセクションな上にスリッピーな路面で無理は出来ません。それは藤田選手も一緒なのでここは落ち着いて最終コーナーで前方選手をアウト側から抜いてなんとかチェッカー。結果はヒート 1 から 2 個落としの 1 1 位でした。

順位は落ちましたが、気の抜けないレースでヒート 1 より楽しくレースが出来ました。



最終戦も終わりシリーズランキングは先シーズンより1つ順位を上げて9位になりました。

来シーズンはS10OPEN クラスでは念願のシングルゼッケンです。

今シーズンは目立った順位に上がる事は無かったものの苦手なコースレイアウトが多い中着実にポイントを重ねられたのが結果に繋がりました。

また、転倒は多かったもののマシントラブルや怪我が一切なかった事も結果を残せた事に非常に大きく影響しています。

改めてサポートして頂いている企業様、今シーズンはチームにも所属しなかった為、作業やタイム、ガソリンの管理などやる事がいっぱいになっている中、毎戦手伝ってくれる妻には感謝の気持ちでいっぱいです。

来シーズンも全戦参戦を予定しております。

今シーズン応援、サポートありがとうございました。

来シーズンも是非引き続き応援、サポートよろしくお願いいたします。